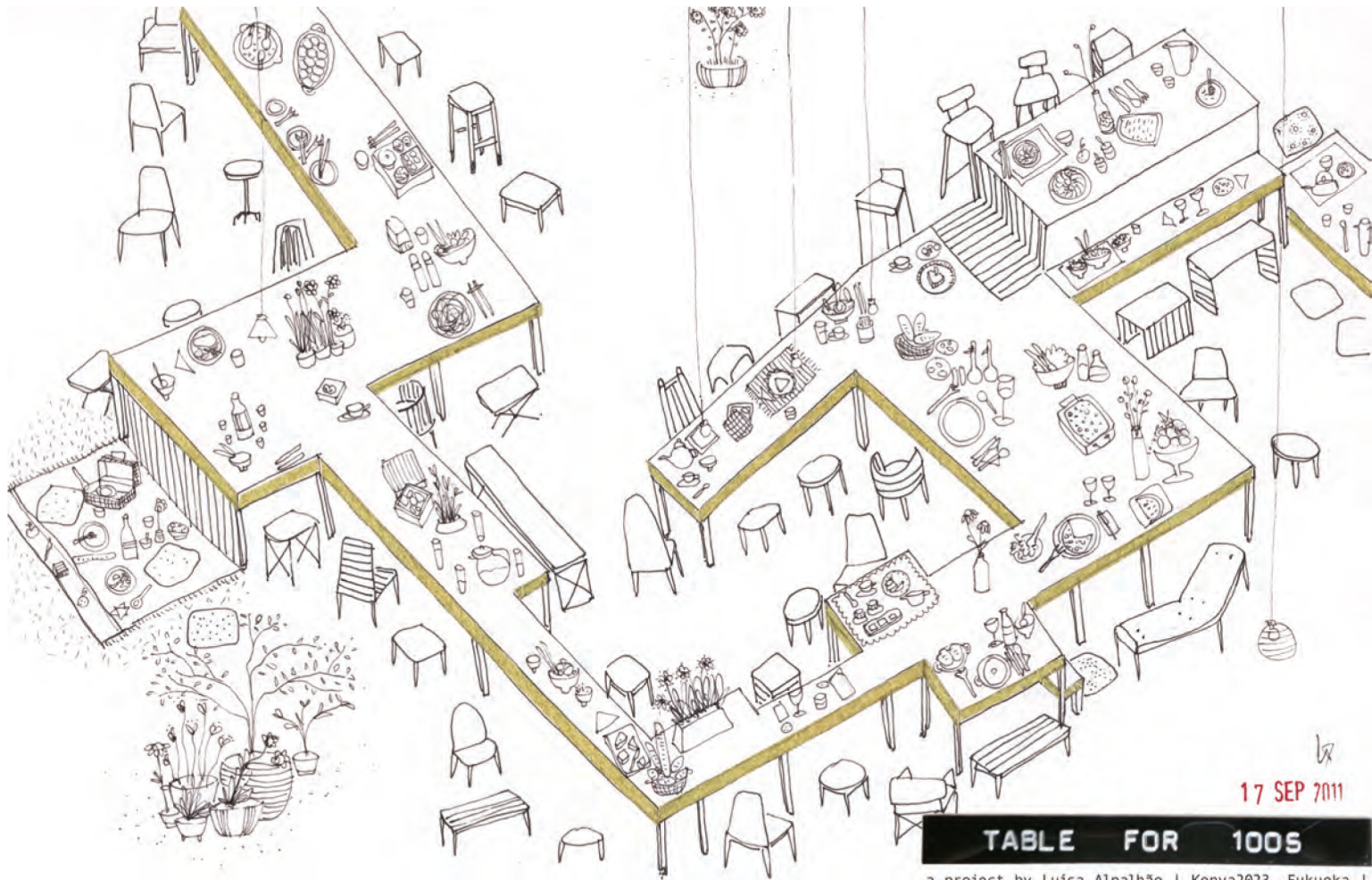




17 SEP 2011

TABLE FOR 100S

a project by Luísa Alpalhão | Konya2023, Fukuoka |



2008年春にオープンしたkonya-galleryはおかげさまで11月で3周年を迎えます。

今年は、ギャラリーオープニング時に引き続き、「レジデンスプログラム」の第二弾を開催。

ポルトガルより若手アーティスト ルイーザ・アルパリオンを招聘し、「100人の食卓」展を開催します。

#2 Luísa Alpalhão 「100人の食卓」展

[Table for 100's] will bring together people, form and food in a layered narrative of urban experiences on the cultural richness of Japanese and Portuguese cuisine and the ways of experiencing a meal at a [Table for 100's].

[ENGLISH INFORMATION]

<http://tablefor100s.wordpress.com/>

2011.11.11(金)▶▶11.30(水) 12:00—19:00

@konya-gallery & konya-sky etc

〒810-0041 福岡市中央区大名1-14-28第一松村ビル

晚餐会 ——— 11.10 ※CAMPFIREによる支援者限定企画

<http://camp-fire.jp/> CAMPFIREでの支援が集まった場合のみの開催となります。

Opening party - 11.12 ¥1,000- (1drink付), small dish: ¥200~¥500-/dish

○17:00~ children WS ○19:00~ talk ○20:00~ light dinner

100人の食卓を使って、100人で食べよう! ポルトガルと日本の小さな料理をご用意してお待ちしています。

Closing party — 11.30 ¥1,000- (1drink付), small dish: ¥200~¥500-/dish

○19:00~

Opening, Closing共に小学生以下は参加費¥500-(1 soft drink)

「100人で一緒にごはんを食べられるテーブル」ってどんなテーブル?

食卓の風景は、文化や歴史、気候や風土、またそこに居合わせる人によっても大きく変わります。また、イス座りか畳などの床座りか、鍋のように1つの料理を分け合うのか、などの様々な条件によってテーブルの形状も変化します。このプロジェクトでは、ルイーザ・アルパリオンが、福岡で体験する「食」やこどもたちとのワークショップを通じて、「100人の食卓」を創り出すことを試みます。



ルイーザ・アルパリオン/1984年生まれ。リスボン出身。イースト・ロンドン大学、ロイヤル・カレッジ・オブアートや、muf、SCABALでの勤務などを経て、現在UCLバートレット校博士課程。修士論文「Where shall we meet?」はヘレン・ハムリン基金の「Design for Our Future Selves」賞にノミネート。現在はリスボンとロンドンを拠点に、建築家、インスタレーションアーティストとして活動する。デザイン・アート集団「アーバンノマド」設立メンバー。都市のパブリックスペースの利用のされ方に注目する彼女は、さまざまな年齢層、背景を持つ地域住民同士を結びつける、遊び心にあふれた参加型プロジェクトを得意とする。これらのプロジェクトを通じ、デザインによって様々な境界をなくし真にパブリックな空間をつくり出す試みに取り組んでいる。

*マイクロ・バトロノ・プラットフォーム「CAMPFIRE」に登録しています。ご支援お待ちしております! <http://camp-fire.jp/>

CAMPFIREとは? ...すべてのクリエイターが持っているアイデアを実現するために、その内容に共感した複数のファンから、実現のために必要な創作費用を少額ずつ集める事のできるインターネット上のプラットフォームです。

主催/紺屋2023 協力/CAMPFIRE 明星和楽

【紺屋2023】tel/ 092-984-6292 e-mail/ travel-front@travelers-project.info <http://konya2023.travelers-project.info/konya-stay>

by TRAVEL FRONT

